

観光連盟だより

2025
1
月号

新年のご挨拶

初春のお慶びを申し上げます。会員の皆様方におかれましては、当連盟の事業運営に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍が収束した後、全国的にインバウンド観光が増加しました。令和6年度の訪日外国人客数は過去最多となりましたが、滞在先が都市部に偏る傾向があり、地方への誘客・消費拡大が課題となっております。一方で、一昨年から燃料油価格等の物価高騰や貸切バス新運賃制度による値上げなど観光需要回復に大きな支障をきたしており、航路・航空路乗降客数は前年度比で約97%とやや減少傾向にあります。

これに対処するため、老岐市・対馬市両市の観光需要の喚起を図ることを目的に連携して実施しております、老岐市・対馬市を周遊するツアーの送客数も前年度比で約50%と大きく減少しており、何らかの対策を講じる必要があります。

このような中、11月からは新たな取り組みとして、JR西日本様にご協力いただき「老岐島Premium往復乗船券」を観光Massアプリ「tabiwa」で販売を行っております。旅行会社離れを感じる昨今WEBで完結できる取り組みは、今後一定の集客が期待できると考えています。

また、国外からの誘致活動については、新北市新店区長春里の長期滞在が本年4月に予定されており、さらなる国際交流の発展が見込まれます。今後一層、インバウンド対策の充実に努めて参りますので、会員皆様の積極的な参加とインバウンド対応のご努力をよろしくお願ひします。

老岐市の観光事業が、持続的な発展・成長を遂げるために、インバウンドにも対応可能な新たな観光コンテンツの開発と磨き上げが必要です。本年も、会員の皆様をはじめ、受入施設様・行政機関等の関係機関と連携し、役職員一丸となって受入整備・情報発信強化に努めて参ります。

結びに、本年が会員の皆様にとって健やかで、実り多き一年となりますよう、ご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



老岐市観光連盟
会長 下条 正文



教育旅行モニターツアー

12月23日～25日の2泊3日、長崎県観光連盟主催の教育旅行モニターツアーが開催されました。関東・東北・四国の4校5名の先生方にご来島いただき、各事業者の案内のもと、体験プログラム等を中心に視察を行いました。

視察後の各校の先生からは、「老岐市は新たな教育旅行先として検討に値する」といった評価をいただいております。今後、教育旅行の実施先として島へ足を運んでいただけるよう、継続的なアプローチを続けて参ります。

雑誌「一個人」1月号で紹介されました

12月16日発売の雑誌「一個人」1月号新年特集「開運の聖地190」で、老岐島の神社や老岐神楽等について13ページ紹介いただきました。

11月上旬、一個人副編集長・神社ライター吉田さらさ氏・カメラマンの3名が来島し巳年にちなんだ神社や老岐七社巡り、老岐神楽、原の辻遺跡等について取材を実施いただきました。ぜひご一読ください。

今後も老岐の魅力を発信できる取材招致に努めて参ります。



第37回老岐の島新春マラソン大会

1月12日に開催した『第37回老岐の島新春マラソン大会』は、好天にも恵まれ、無事終了することが出来ました。

スペシャルゲストにタレントの「東国原 英夫」氏をお招きし、軽快なトークやご本人との写真撮影で多くの方々にお楽しみいただきました。

島内外合わせて1,405件のお申し込みがあり、遠くは香港や台湾、北海道から参加いただきました。

大会を支えていただいた関係機関並びにボランティアの方々のご協力、また沿道での応援、交通規制へのご理解、ご協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

